

# 血液培養検査 複数セット提出率

## 算式

$(\text{提出セット数} - 1 \text{ セットのみの提出セット数}) \div \text{提出セット数} \times 100$

## 対象

全入院患者（全診療科・全病棟）

## 考察

血液培養は感染症診断の重要な手段であり、菌血症の検出に広く用いられている。検査感度の向上および、採取部位の皮膚常在菌などによるコンタミネーションの区別のために、通常は2セット以上の検体提出が必要である。2024年度は血液培養ボトルの供給不足による低下が認められるが他施設と比較しても差はなく適正な検査状況と考える。

## 計画

今後もモニタリングを継続し、提出率の低下がないか監視を行う。

